

電子入札の開始について

公共工事は、国民の税金をその財源として、国民生活の向上や国民の生命・財産を守る目的で行われるものであり、品質の向上、コストの縮減、環境への配慮、透明性の確保が要請されています。

IT（情報技術）の飛躍的な進歩や、インターネットの普及により、情報公開や経済活動のあり方が大きく変わっていく中で、公共工事の発注プロセス全体での情報公開、透明性の向上が求められています。

また、平成十三年四月から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、入札結果や受注者の選定過程等の公表が義務づけられ、公共工事の入札及び契約における透明性、公正性の確保がより一層重要なものとなってきています。

このような状況を踏まえ、国土交通省は、平成九年度からCALS/EC（公共事業支援統合情報システム）を導入するとともに、平成十三年度からは、CALS/ECの一環として電子入札を実施しています。

電子入札は、従来「紙」で行われていた入札をインターネット上でのデータのやり取りにより行うものです。電子

入札を行うことにより、どこに居ても入札に参加できるようになり、事務の簡素化、コスト縮減につながるとともに、より多くの入札希望者が参加できるようになり、競争性の向上が図られることとなります。

沖縄総合事務局開発建設部におけるCALS/ECへの取り組みは、平成十一年度に推進検討会を設置し、平成十七年度を実現目標として、全ての公共工事にCALS/ECを導入することとしています。また、電子入札については、平成十四年度から一部実施するとともに、平成十六年度の完全実施に向けて準備を進めています。

（参考）

※CALS/EC(Continuous Acquisition and Life-cycle Support/Electronic Commerce)とは、従来は紙で交換されていた情報を電子化するとともに、インターネットを活用して公共事業に関連する多くのデータベースを連携して使うことが出来る環境を創出する仕組みです。

（電子入札）

平成14年度…	本局、各事務所において1～2件程度実施
平成15年度…	工事：工事希望型(1億円)以上の全案件を対象 業務：1千万円以上の全案件を対象
平成16年度…	工事、業務の全案件を対象

